

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務含む)	指導担当者名	管野 元美
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備をする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等を総合評価する。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのかを考える。(宿題として視聴)
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのかを考える
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみを整える
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い
	5	職業を知る	圧迫面接を知る
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解を深める
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分自身を知る 自分史作成 1	1 3-4~3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す
	10	自分自身を知る 自分史作成 2	3-4~3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分自身を知る 自分史作成 3	3-4~3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)
	12	を知る 自分史作成 4	3-4~3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	3-4~3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作りを知る
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作りを行う
	16	自己PRの作り方 1	3-7 業界、会社に合った自己PR 作りを行う
	17	自己PRの作り方 2	3-7 業界、会社に合った自己PR 作りを行う
	18	自己PRの作り方 3	3-7 業界、会社に合った自己PR 作りを行う
	19	履歴書作成	期末評価
	20	履歴書作成	まとめ
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務含む)	指導担当者名	管野 元美
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備をする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等を総合評価する。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオ *履歴書の完成
	4	作成書類 2	
	5	作成書類 3	
	6	企業訪問	5-1~5-2 準備、当日、事後の指導
	7	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室を実践する
	8	職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1
	9	職試験のマナー 4	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2
	10	筆記試験対策 1	5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方を知る (内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方を知る (内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	13	企業研究 1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査する
	14	企業研究 2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査する
	15	企業研究 3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査する
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須とする
	17	履歴書・面接試験	期末評価
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学 I	指導担当者名	村上 成美
実務経験	エステティシャン実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	135時間	週時間数	6時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける。 日本エステティック試験センター筆記試験合格に向けた学びを目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テストを総合評価する。		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	ビューティ学とは
	2	エステティック概論	エステとマッサージの違い
	3	"	内面からきれいにする考え方
	4	解剖生理学	人体とは
	5	解剖生理学	骨格系
	6	解剖生理学	筋肉系
	7	解剖生理学	消化器系
	8	皮膚科学	皮膚の構造
	9	皮膚科学	生理機能
	10	皮膚科学	肌診断(4種類の肌)
	11	運動生理学	運動の必要性
	12	運動生理学	筋肉・呼吸器・循環器と運動
	13	期末テスト	
	14	カウンセリングシート	アドバイス
	15	運動生理	カウンセリングシート作成
	16	解剖生理学	人体とは 細胞・組織・器官
	17	解剖生理学	構造とメカニズム
	18	解剖生理学	骨格系・筋系
	19	解剖生理学	消化器系 呼吸器系
	20	解剖生理学	循環器系 心臓・血管
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学 I	指導担当者名	村上 成美
実務経験	エステティシャン実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	135時間	週時間数	3時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける。 日本エステティック試験センター筆記試験合格に向けた学びを目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テストを総合評価する。		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	解剖生理学	内分泌系
	2	解剖生理学	血液
	3	解剖生理学	ホルモン
	4	解剖生理学	免疫系
	5	解剖生理学	神経系
	6	解剖生理学	感覚器
	7	解剖生理学	泌尿器・生殖器
	8	皮膚科学	肌分析
	9	確認テスト	筆記試験
	10	テストの解説	解答解説
	11	皮膚科学	肌分析(相モデル)
	12	皮膚科学	肌トラブルの原因
	13	皮膚科学	シミ
	14	皮膚科学	老化
	15	皮膚科学	敏感肌
	16	皮膚科学	アトピー
	17	香粧品学	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接遇	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接遇」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接遇実務検定2級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接遇検定公式テキスト2級」「サービス接遇検定実問題集2級」		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習をすること。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている
	7	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について、理解できる
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	13	前期試験	試験問題 準備
	14	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	15	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を理解できる
	16	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの機能を理解できる
	17	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている
	18	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語が理解できる
	19	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 経済用語が理解できる
	20	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接遇	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接遇」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接遇実務検定2級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接遇検定公式テキスト2級」「サービス接遇検定実問題集2級」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習をすること。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる
	2	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を理解している
	3	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	4	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる
	5	対人技能 接遇知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる
	6	対人技能 接遇知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている
	7	対人技能 接遇知識	テキスト / プリント 準備 接遇者としてのマナーを心得ている
	8	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接遇用語を知っている
	9	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接遇者としての基本的な話し方が理解できる
	10	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 提示、説明の仕方が理解できる
	11	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接遇者としての適切な服装が理解できる
	12	後期試験	試験問題 準備
	13	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	14	実務技能 問題処理	テキスト / プリント 準備 問題処理について、理解できる
	15	実務技能 環境整備	テキスト / プリント 準備 環境整備について、理解できる
	16	実務技能 金品管理	テキスト / プリント 準備 金品管理について、理解できる
	17	実務技能 社交業務	テキスト / プリント 準備 社交儀礼の業務について、理解できる
	18	接遇マナーのまとめ	テキスト / プリント 準備 練習問題の実施
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I		指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験36年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	日本化粧品検定3級・2級取得を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。			
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト			
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション		
	2	PART 1 間違えがちな美容知識をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.22～37	
	3	PART 1 間違えがちな美容知識をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.38～49	
	4	PART 2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.52～59	
	5	PART 2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.60～69	
	6	肌の構造	表皮・真皮・皮下組織	
	7	肌の構造	皮膚のしくみとターンオーバー	
	8	肌の構造	皮膚の機能	
	9	PART 3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.72～75	
	10	肌タイプの見分け方	肌タイプと見分け方	
	11	PART 3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.76～83	
	12	肌悩みの原因とお手入れ	乾燥・ニキビ・毛穴	
	13	肌悩みの原因とお手入れ	しみ・くすみ	
	14	肌悩みの原因とお手入れ	くま・しわ・たるみ	
	15	PART 3 メイクアップの基本テクニック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.94～103	
	16	ファンデーション フェイスパウダー	色選びと付け方	
	17	ハイライト&シェーディング	基本の入れ方 顔型別の入れ方	
	18	アイメイク	眉・アイシャドウ・まつ毛・アイライン	
	19	チーク・口紅	チークの基礎知識・口紅の正しい塗り方と形	
	20	肌悩みに応じた化粧品の使い方	トラブル別テクニック	
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I	指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級・2級取得を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.112～119
	2	肌の劣化	外的要因・内的要因・ストレス・ホルモン
	3	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.120～125
	4	紫外線の影響	紫外線・サンケア指数
	5	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.126～130
	6	マッサージ	効果的なマッサージ・リンパ
	7	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.132～139
	8	美しい肌を作る生活習慣	睡眠・食事・運動・入浴
	9	検定試験対策	練習問題
	10	検定試験対策	練習問題
	11	検定試験対策	練習問題
	12	テスト	確認テスト
	13	検定試験対策	練習問題
	14	検定試験対策	練習問題
	15	検定試験対策	練習問題
	16	検定試験対策	練習問題
	17	検定試験対策	2級受験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I	指導担当者名	①村上成美 ②森合美穂 ③近内睦美
実務経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エステティシャン実務経験33年 ③エステティシャン実務経験5年 美容部員8年	実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験を総合評価する。		
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワソワ協会テキスト(実技)		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション 身だしなみ・授業について	エステティックについて学ぶ
	2	エステ室の使用の仕方・清掃・洗濯・消毒	実習のマナーを学ぶ
	3	ボディ実技導入・モデルの誘導(セッティン)	マニュアル作成をする
	4	6大手技(軽擦法・強擦法・揉擦法)	相モデルでマッサージを行う
	5	6大手技(打法・圧迫法・振動法)	相モデルでマッサージを行う
	6	6大手技練習	相モデルで実習する
	7	7大手技練習	相モデルで実習する
	8	下肢後面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	9	下肢後面マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習をする
	10	背中マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	11	背中マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習をする
	12	下肢前面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	13	下肢前面マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習をする
	14	腕マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	15	腕マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習をする
	16	腹部マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	17	腹部マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習をする
	18	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握する
	19	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握する
	20	中間テスト ボディ実技	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I	指導担当者名	①村上成美 ②森合美穂 ③近内睦美
実務経験	①エステシヤン実務経験6年 ②エステシヤン実務経験33年 ③エステシヤン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: ①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験を総合評価する。		
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	純水の作り方・準備物	
	2	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	3	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	手順の確認テスト
	4	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	5	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	6	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	7	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	8	クレンジング通し	相モデルでクレンジングを行う
	9	フェイシャルマッサージ	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	10	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う
	11	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う
	12	クレンジング・マッサージ	マニュアルを見ながら練習をする
	13	クレンジング・マッサージ	マニュアルを見ながら練習をする
	14	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う
	15	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う
	16	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う
	17	期末テスト フェイシャル実技	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	①五十嵐愛 ②大原麻弥
実務経験	①ネイリスト実務経験13年 ②ネイリスト実務経験9年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	ネイルの基礎を学び、ネイリスト技能検定3級、ジェルネイル初級を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識付けをする
	2	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策を行う
	3	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策を行う
	4	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧を学ぶ
	5	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニッパーワーク・流れを説明・実習
	6	ケア・カラー (カラー5本指)	最初からの通しを行う
	7	ケア・カラー	1つ1つ説明しながら相モデルで通しを行う
	8	アート	課題アートの描き方を学ぶ
	9	手指消毒～ケア	計測 40分
	10	カラー～仕上げ	計測 40分
	11	通し計測	計測 80分
	12	中間テスト	計測 80分
	13	ネイル3級検定	検定試験
	14	ジェルネイルの基礎	ジェルとは ドライケアを学ぶ
	15	カラーリング	ジェルとポリッシュの違いを学ぶ
	16	アート	ジェルアート(ピーコック)を学ぶ
	17	カラーリングからアート	通し計測を行う
	18	期末テスト	通し計測を行う
	19	カラーリングからアート	通し計測を行う
	20	ジェル初級検定	検定試験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	①五十嵐愛 ②大原麻弥
実務経験	①ネイリスト実務経験13年 ②ネイリスト実務経験9年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	ネイリスト技能検定2級を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	前期の復習	模擬試験
	2	2級内容確認	検定の内容を学ぶ
	3	ネイルチップラップ説明	検定の準備を学ぶ
	4	ネイルチップラップ説明	溶剤の使用方法を学ぶ
	5	ネイルチップラップ説明	チップの合わせ方を実践する
	6	ネイルチップラップ説明	ハンド使用して実践する
	7	実技前半35分	相モデルで練習する
	8	実技前半35分	相モデルで練習する
	9	実技前半35分	相モデルで練習する
	10	実技前半35分	相モデルで練習する
	11	期末テスト	期末テスト
	12	実技後半55分	相モデルで練習する
	13	実技後半55分	相モデルで練習する
	14	実技試験通し 90分	相モデルで練習する
	15	ネイリスト検定2級	検定試験
	16	復習	相モデルで丁寧に復習する
	17	復習	相モデルで丁寧に復習する
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I	指導担当者名	①佐々木美代子 ②近内睦美
実務経験	①美容師実務経験18年 ②エステシャン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3,2級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	「メイクアップの前に」	・メイクキットの検品・メイクアップの道具、手入れ・基本のセッティング例 デモスト 説明
	2	「メイクアップの前に」	・モデルのセッティング例デモスト 説明・技術者の身だしなみ、スタンス、 道具の持ち方デモスト
	3	「メイクアップの前に」	・メイクアップの仕事～3級試験概要説明(授業目標値)
	4	「スキンケア①」	・スキンケアの順序・スキンケア化粧品目的、特徴・皮膚・表情筋・顔の名称
	5	「スキンケア②」	・化粧水・美容液・乳液テクニク復習(手順を覚える) (セッティング後 実習50分)
	6	「スキンケア③」	・スキントイプと肌の状態・化粧水・美容液・乳液テクニクトータルチェック
	7	「スキンケア④」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践(ティッシュ、綿棒の使いこなし 的確な添え手のポイント)
	8	「スキンケア⑤」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践 トータルチェック(実習50分)
	9	「スキンケア⑥」	・スキンケアテクニクトータルレッスン(実習50分)
	10	「ベースメイク①」	・ベースメイク化粧品の目的、特徴・ベースメイクの順序(座学20分)
	11	「ベースメイク②」	・骨格・肌色(座学20分)・ファンデーション～パウダー 実践 ハンドテクニク、 スポンジ・パフテクニク
	12	「ベースメイク③」	・ファンデーション～パウダー復習(セッティング後 実習50分)
	13	「ベースメイク④」	・ベースメイクの質感・肌トラブルとメイクアップ(座学15分)・コントロールカラー ～ファンデーション
	14	「ベースメイク⑤」	・ファンデーション～コンシーラー～パウダー 実践(セッティング後 実習50分)
	15	「ベースメイク⑥」	・ベースメイクトータルレッスン(実習50分)
	16	「トータルレッスン①」	・化粧水・美容液～ベースメイクトータルレッスン(実習50分)
	17	「トータルレッスン②」	・ポイントクレンジング～ベースメイクトータルレッスン(実習50分)
	18	「顔分析①」	・顔分析理論・修整理論・ハイライト、ローライト、チークの効果(座学50分)
	19	「顔分析②」	・ファンデーション～パウダー・ハイライト、ローライト、チーク(実習50分)
	20	3級実技試験内容	・3級 試験 テーブルセッティング 注意事項説明 事前審査 実技試験 30分 審査
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I	指導担当者名	①佐々木美代子 ②近内睦美
実務経験	①美容師実務経験18年 ②エステシャン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定2級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3,2級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	「ポイントメイク」	・2級試験の指定項目のデモンストレーション
	2	「アイブロウ①」	・アイブロウの基礎知識・アイテム・基本の描き方・アイブロウテクニック
	3	「アイカラー①」	・アイカラーの基礎知識・アイテム・基本のアイカラーの入れ方・基本のアイカラー ブラシテクニック
	4	「アイライン①」	・アイラインの基礎知識・アイテム・基本のアイラインの入れ方・基本のアイラインテクニック(ペンシル)
	5	「アイライン②」	・基本のアイラインテクニック(リキッド)
	6	「ビューラー&マスカラ」	・ビューラー、マスカラの基礎知識・アイテム・基本の使い方・基本のビューラー、マスカラテクニック
	7	「アイメイクトータルレッスン①」	・アイブロウ、アイメイクトータルレッスン
	8	「リップ」	・リップの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方・リップテクニック
	9	「ベーシックポイントメイク」	・アイブロウ・アイメイク・チーク・リップ
	10	「ポイントメイクトータルレッスン①」	・試験課題を意識した、ポイントメイクレッスン
	11	「顔の分析」	・基本のプロポーション・個性の分析・バランスの分析・メイクプラン
	12	「ベースメイク」「顔の分析・フルメイク①」	・ベースメイクテクニック(ブラシテクニック)・基本のプロポーションに近づけるフルメイク
	13	「錯覚とメイクアップ」	・線の錯覚・直線と曲線 半顔メイク実践・色の錯覚・色彩とメイクアップ
	14	「模擬試験レッスン①」	模擬試験①
	15	「模擬試験レッスン②」	模擬試験②
	16	「模擬試験レッスン③」	模擬試験③
	17	2級実技試験	試験時間50分
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	管野 元美
実務経験			実務経験: 無
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:◎	実習: 実技:
時間数	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	一年間の集大成としての作品作り(メイク、ネイル)を行う。		
評価方法 評価基準	プレゼン発表、提出課題等の総合評価する。		
使用教材	Ipad・メイク用品・ネイル用品・メイクプランシート		
授業外学習の方法	作品案を考え、発想力を磨く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	パワーポイントの使い方	プレゼンテーションの方法(PC)を学ぶ
	2	パワーポイントの使い方	プレゼンテーションの方法を学ぶ
	3	修了制作のテーマを決める	個人でテーマの材料を調査する
	4	作品案を考える	サンプル作成を行う
	5	企画書づくり	サンプル作成を行う
	6	企画書づくり	企画書の作り方を学ぶ
	7	ヘアメイクプランシート作成	テーマに合ったヘアメイクを検討する
	8	ヘア実践	相モデルによる練習
	9	メイク実践	相モデルによる練習
	10	ネイル案シート作成	ネイルシートを完成させる
	11	ネイル作成	チップ合わせを行いネイルを制作する
	12	全体プランシート作成	見直し
	13	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	14	写真撮影	モデルにヘアメイク、ネイルを行い撮影をする
	15	写真選別	実際に使用する写真を選別しプレゼン資料に落とし込む
	16	パワーポイント作成	最終プレゼン資料を作成する
	17	修了制作発表	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務含む)	指導担当者名	管野 元美
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動の心構え身だしなみ・目的意識の確認をし、内定を目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等の総合評価する。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	就職活動について学ぶ
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャーする
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみを整える
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違いを知る
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャーする
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編) 業界マップの理解を深める
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分自身を知る 自分史作成 1	自己PRのネタを探す
	10	自分自身を知る 自分史作成 2	自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分自身を知る 自分史作成 3	自己PRのネタを探す(特性)
	12	自分自身を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格を作る
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方 1	業界、会社にあった動機作りをする
	15	志望動機の作り方 2	業界、会社にあった動機作りをする
	16	自己PRの作り方 1	業界、会社に合った自己PR 作りをする
	17	自己PRの作り方 2	業界、会社に合った自己PR 作りをする
	18	自己PRの作り方 3	業界、会社に合った自己PR 作りをする
	19	履歴書作成	期末評価
	20	履歴書作成	まとめ
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務含む)		指導担当者名	管野 元美	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	40時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備をする。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等の総合評価する。				
使用教材	SUCCESS				
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	志望動機の作り方 1	実践)業界、会社にあった動機作りをする		
	2	就職活動の心構え身だしなみ	実践)業界、会社にあった動機作りをする		
	3	就職活動での身だしなみ	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオ*履歴書の完成		
	4	就職活動の流れ			
	5	職業を知る			
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	準備、当日、事後の指導を行う		
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	入退室の仕方を学ぶ		
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	面接試験対策1		
	9	自分自身を知る 自分史作成 1	面接試験対策2		
	10	自分自身を知る 自分史作成 2	筆記試験について、種類や方法を知る		
	11	自分自身を知る 自分史作成 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)		
	12	自分自身を知る 自分史作成 4	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)		
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)		
	14	志望動機の作り方 1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)		
	15	志望動機の作り方 2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)		
	16	自己PRの作り方 1	履歴書、入退室の確認は必須		
	17	自己PRの作り方 2	履歴書、入退室の確認は必須		
	18	自己PRの作り方 3	作品について		
	19	テスト	就職活動のまとめ		
	20	履歴書作成	レポート提出		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学Ⅱ		指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験36年			実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。			
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト			
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	PART 1 化粧品の歴史	テキスト使用	
	2	PART 2 原料と基礎知識	化粧品の原料について	
	3	PART 2 原料と基礎知識	スキンケア化粧品	
	4	PART 2 原料と基礎知識	スペシャルケア、男性肌の特徴	
	5	PART 2 原料と基礎知識	メイクアップ化粧品	
	6	PART 2 原料と基礎知識	ポイントメイクアップ化粧品	
	7	PART 2 原料と基礎知識	ボディ化粧品	
	8	PART 2 原料と基礎知識	毛髪の構造とヘアケア製品について	
	9	PART 2 原料と基礎知識	ネイルの構造について、香りの成分と働き	
	10	PART 2 原料と基礎知識	オーラルケアとケア製品、サプリメントの基礎知識	
	11	テスト	確認テスト	
	12	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品と医薬品医療機器等法、化粧品・薬用化粧品・医薬部外品の効能と効果	
	13	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の広告やPRのためのルール、化粧品の全成分表	
	14	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の安全性を守るためのルール、化粧品を安全に保つために、化粧品と肌トラブル	
	15	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の官能評価	
	16	PART 3 化粧品にまつわるルール	おもな化粧品成分	
	17	検定対策	過去問題	
	18	検定対策	模擬問題	
	19	検定試験		
	20	まとめ	検定の振り返り	
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	メイクコンペ	指導担当者名	管野 元美
実務経験	美容師実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ラグゼビューティ フォトコンペティション入賞を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・コンペ作品を総合評価する。		
使用教材	LedomメイクBOX・メイクプランシート		
授業外学習の方法	コンペ作品案を考え、発想力を磨く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	コンペ概要	今年度のテーマを確認する
	2	タイトル(コンセプト)決め	テーマに沿ったタイトルを決める
	3	メイクイメージ画作成	フェイスプランシート作成する
	4	メイクイメージ画作成	フェイスプランシート作成する
	5	ヘア、衣装(案)の作成	フェイスプランシート作成する(ヘア、メイク、衣装まで色を載せる)
	6	セルフメイク実践	自分の顔にメイクを実践する
	7	セルフメイク実践	自分の顔にメイクを実践する
	8	セルフメイク実践	自分の顔にメイクを実践する
	9	モデル決め	テーマに沿ったモデルに依頼をする
	10	パーツ作成	必要なパーツの作成、買い出し等を行う
	11	実践デモ	モデルにメイクを実践する
	12	実践デモ	モデルにヘアメイクをする
	13	衣装作成	撮影時アングルを考えた衣装の作成をする
	14	実践デモ	モデルにヘアメイクをする
	15	実践デモ	モデルにヘアメイクをする
	16	実践デモ	モデルにヘアメイクをする 携帯での撮影 アングルを決める。
	17	本番撮影	本番撮影
	18	提出フォーム内容の作成	テーマに合ったタイトル(コンセプト)内容を記入する
	19	提出写真の選別	撮影した写真の中から提出する写真を選別し決定する
	20	作品提出	作品データのアップロード提出をする
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ	指導担当者名	①佐々木美代子 ②柳橋南
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験12年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	135時間	週時間数	6時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定1級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定1級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	2級内容の振り返り	2級内容と1級内容の違いを説明
	2	「イメージメイク理論①」	・イメージ分類・イメージに近づくポイントメイクの色、形・質感
	3	「イメージメイク理論②」	・キュート・エレガント イメージメイクデザイン
	4	「イメージメイク実習①」	・キュートメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をキュートメイクに近づけるポイント
	5	「イメージメイク実習②」	・エレガントメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をエレガントメイクに近づけるポイント
	6	「イメージメイク実習③」	・フレッシュ・クール イメージメイクデザイン
	7	「イメージメイク実習④」	・フレッシュメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をフレッシュメイクに近づけるポイント
	8	「イメージメイク実習⑤」	・クールメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの描き方 ・モデルの顔をクールメイクに近づけるポイント
	9	「メイクアップの強弱①」	・ポイントメイクのイメージ・ポイントメイクのバランス
	10	「メイクアップの強弱②」	・アイブロウを強調したメイク
	11	「メイクアップの強弱③」	・アイメイクを強調したメイク
	12	「メイクアップの強弱④」	・リップを強調したメイク
	13	「メイクアップの強弱⑤」	・チークを強調したメイク
	14	「1級試験概要」	・試験の内容・試験のポイント・接客マナー
	15	「カウンセリング①」	・カウンセリングのポイント・カウンセリングシートの活用・カウンセリングロープレ
	16	「カウンセリング②」	・カウンセリング～メイク設計・コミュニケーション・カウンセリングロープレ
	17	「スピードスキンケア①」	・スピードメイクオフ～スキンケア
	18	「スピードスキンケア②」	・スピードメイクオフ～スキンケア・カウンセリング
	19	「スピードメイクのポイント」	・メイク設計とアイテム選び・フルメイクチェック
	20	「スピードメイクのポイント」	・メイク設計とアイテム選び・フルメイクチェック
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ	指導担当者名	①佐々木美代子 ②柳橋南
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験12年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎ 実技:
時間数(通年)	135時間	週時間数	3時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定1級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定1級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	「要望に応えるフルメイク①」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	2	「要望に応えるフルメイク②」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	3	「要望に応えるフルメイク③」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	4	「要望に応えるフルメイク④」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	5	「要望に応えるフルメイク⑤」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	6	「クロージング」	・クロージングのポイント・フルメイク〜クロージング
	7	「クロージング」	・クロージングのポイント・フルメイク〜クロージング
	8	「クロージング」	・クロージングのポイント・フルメイク〜クロージング
	9	「加齢とメイク」	・エイジングの変化・メイクでの対応方法
	10	「加齢とメイク」	・エイジングの変化・メイクでの対応方法
	11	「加齢とメイク」	・エイジングの変化・メイクでの対応方法
	12	「模擬試験レッスン①」	・1級実技試験内容(1クール 50分)
	13	「模擬試験レッスン②」	・1級実技試験内容(1クール 51分)
	14	「模擬試験レッスン③」	・1級実技試験内容(1クール 52分)
	15	1級実技試験	テーブルセッティング 注意事項説明 カウンセリング〜スキンケア 15分 事前審査 実技試験 30分
	16		
	17		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	指導担当者名	管野 元美
実務経験	美容師実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	BFビューティサロンの運営を通して実践的な技術や接客を身につける 美容業界現場・作品制作に活用できるメイク・簡単なヘアアレンジ方法を学ぶ		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出物、BFビューティサロンの売上などの総合評価		
使用教材	エステ用品・ネイル用品・SNS		
授業外学習 の方法	SNSなどを利用して、集客の方法を考える。技術の応用練習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	昨年度の振り返り	昨年度の反省と今年度の目標設定
	2	新メニュー案	反省点を基にメニューの見直しをする
	3	集客方法案	SNS発信、チラシ作成、メニューPOP作成
	4	運営準備	マニュアル作成
	5	運営準備	実践練習
	6	運営準備	プレオープン・当日準備
	7	サロン運営	エステ・ネイルサロン運営
	8	反省会	前回のサロン運営における反省会と次回の目標
	9	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	10	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	11	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	12	コテの使用方法	ウィッグを使用して練習
	13	コテの使用方法	ウィッグを使用して練習
	14	トレンドメイク	メイク道具一式
	15	トレンドメイク	メイク道具一式
	16	トレンドメイク	メイク道具一式
	17	技術チェック	メイク道具一式
	18	技術チェック	メイク道具一式
	19	振り返り	
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	指導担当者名	管野 元美
実務経験	美容師実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	BFビューティサロンの運営を通して実践的な技術や接客を身につける 美容業界現場・作品制作に活用できるメイク・簡単なヘアアレンジ方法を学ぶ		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出物、BFビューティサロンの売上などの総合評価		
使用教材	エステ用品・ネイル用品・SNS		
授業外学習 の方法	SNSなどを利用して、集客の方法を考える。技術の応用練習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	前回の振り返り	反省と今回の目標設定
	2	新メニュー案	反省点を基にメニューの見直しをする
	3	集客方法案	SNS発信、チラシ作成、メニューPOP作成
	4	運営準備	マニュアル作成
	5	運営準備	マニュアル作成
	6	運営準備	マニュアル作成
	7	運営準備	1年生への引継ぎ
	8	運営準備	1年生への引継ぎ
	9	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	10	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	11	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	12	トレンドメイク	メイク道具一式
	13	トレンドメイク	メイク道具一式
	14	ネイルデザイン・アート	ネイル道具一式
	15	ネイルデザイン・アート	ネイル道具一式
	16	技術チェック	
	17	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(コース授業)		指導担当者名	①大原麻弥 ②遠藤淳子
実務経験	①ネイリスト実務経験9年 ②ネイルサロンオーナー実務経験36年			実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:
時間数(通年)	370時間	週時間数	12時間	
学習到達目標	JNAジェルネイル技能検定中級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。			
使用教材	ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具			
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	ジェル中級検定の確認	ジェル中級検定確認(実技・筆記)	
	2	第一課題について	第一課題ネイルケア、カラーリングの実践	
	3	第二課題について	第二課題ジェルオフについて	
	4	第二課題について	第二課題ジェルオフについて	
	5	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション	
	6	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション	
	7	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション	
	8	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション	
	9	第一第二課題の通しと確認	ポリッシュオフについて再度確認	
	10	第一第二課題の通しと確認	ポリッシュオフまでの通し	
	11	テスト	ポリッシュオフまでの通し	
	12	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリングデモンストレーション	
	13	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリング実践	
	14	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリング実践	
	15	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリングまでの通し	
	16	第一第二課題の通しと確認	復習・テスト範囲確認	
	17	第一第二課題の通しと確認	復習と通し・テスト範囲確認	
	18	ジェル中級検定 筆記対策	筆記試験対策	
	19	最終確認テスト	検定前の模擬テスト	
	20	ジェル中級検定	ジェル中級検定	
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(コース授業)	指導担当者名	①大原麻弥 ②遠藤淳子
実務経験	①ネイリスト実務経験9年 ②ネイルサロンオーナー実務経験36年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○ 実技:
時間数(通年)	370時間	週時間数	12時間
学習到達目標	JNECネイリスト技能検定1級、JNAジェルネイル技能検定上級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ネイル1級検定内容の確認	1級内容の確認とネイルイクステンション スカルプのデモンストレーション
	2	ネイル1級検定内容	ネイルイクステンション チップオーバーレイのデモンストレーション
	3	ネイル1級検定内容	ネイルイクステンションからチップオーバーレイまでを実践
	4	ネイル1級検定内容	ネイルアートのデモンストレーションと実践
	5	ネイル1級検定内容	ネイリスト技能検定1級の通し
	6	ネイリスト技能検定1級検定	ネイリスト技能検定1級検定
	7	これまでの復習	復習
	8	ジェル上級検定内容	ジェル上級検定内容確認
	9	ジェル上級検定内容	スカルプのデモンストレーションと実践
	10	ジェル上級検定内容	スカルプのデモンストレーションと実践
	11	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイのデモンストレーションと実践
	12	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイ デザインのデモンストレーションと実践
	13	テスト	
	14	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイ デザインのデモンストレーションと実践
	15	ジェル上級検定内容の通し	通し
	16	ジェル上級検定	ジェル上級検定
	17	まとめ	まとめ
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステ(コース授業)	指導担当者名	①森合美穂 ②村上成美
実務経験	①エステシャン実務経験33年 ②エステティシャン実務経験6年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎ 実技:
時間数(通年)	370時間	週時間数	12時間
学習到達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャン(9月)。 スパ・ウエルネス協会ビューティセラピスト(1月)。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	スパ・ウエルネス協会テキスト・例題集 AEAエステティシャン問題集		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	AEAの説明
	2	コースの説明	コースのシラバスの説明
	3	AEA試験に向けて計画	筆記試験・実技試験に向けての計画
	4	FA実習	フェイシャル技術応用
	5	FA実習(カウンセリング)	フェイシャルカウンセリングシートの作成(応用)
	6	皮膚科学	AEA問題集科目別テスト
	7	BO実習	ボディ実習(応用)
	8	BO実習(カウンセリング)	ボディのカウンセリングシート作成(応用)
	9	解剖生理学・心身生理学	テキスト過去問題
	10	FAマッサージ(6大手技)	フェイシャル実技(応用)
	11	FAマッサージ	フェイシャル実技(応用)
	12	運動生理学・栄養学	テキスト過去問題
	13	テスト	
	14	FAカウンセリング	サロンでの実務的なサービスを学ぶ
	15	FAクレンジング・パック	サロンでの実務的なサービスを学ぶ
	16	化粧品学・エステ機器学	テキスト過去問題
	17	AEA実技練習	検定対策(実技)
	18	カウンセリング・マネジメント	AEA問題集科目別テスト
	19	東洋・西洋セラピー	AEA問題集科目別テスト
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステ(コース授業)	指導担当者名	①森合美穂 ②村上成美
実務経験	①エステシャン実務経験33年 ②エステティシャン実務経験6年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎ 実技:
時間数(通年)	370時間	週時間数	12時間
学習到達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャン(9月)。 スパ・ウエルネス協会ビューティセラピスト(1月)。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	スパ・ウエルネス協会テキスト・例題集 AEAエステティシャン問題集		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	生理解剖学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する
	2	生理解剖学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する
	3	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する
	4	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する
	5	栄養学・香粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する
	6	栄養学・香粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する
	7	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	8	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	9	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	10	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	11	テスト	
	12	東洋・西洋のトリートメント	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	13	脱毛学・フェイシャル・ボディ実技理論	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	14	実技試験最終確認	試験対策
	15	ビューティセラピスト実技試験	検定試験(実技)
	16	アロマ・リフレ・ネイル・メイク	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする
	17	ビューティセラピスト筆記試験模擬試験	検定試験(筆記)
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	インナービューティ(コース授業)	指導担当者名	長尾 里奈
実務経験	ヨガインストラクター実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習:○ 実技:
時間数(通年)	370時間	週時間数	12時間
学習到達目標	自己理解を深め、健康的に整うセルフケアを身に付ける。 朝・夕のストレッチ・筋肉トレーニング・呼吸法を日常の中で活かし生活する。 ナチュラルビューティスタイリスト検定取得を目指す。		
評価方法 評価基準	出席率・参加態度・実技習得度合・ノート提出・オリジナルセルフケア方法提出。		
使用教材	ナチュラルビューティスタイリスト検定 公式テキスト		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自分のココロと身体を知る	P9～14
	2	身体を巡らせる運動・朝ストレッチ	P48～51
	3	毎日の心がけでナチュラルビューティの呼吸法	P87～91
	4	身体の仕組みを知る	P15～21
	5	ストレスと身体	P15～21
	6	身体の仕組みを知る	P15～21
	7	自律神経	P15～21 宿題 理想の1ヶ月の過ごし方
	8	心の疲れをリセット・夜ストレッチ	P52～57
	9	心を休める睡眠	P44～47 宿題 理想の一日のタイムスケジュール
	10	おススメ気分転換法	P58～61 P95～P121 各自ハーブティー
	11	植物図鑑	P58～61 P95～P121 各自ハーブティー
	12	身体の内側から整える 食事	P23～33
	13	身体の内側から整える 食事	P23～33
	14	身体の内側から整える 食事	P23～33
	15	腸を整える	P23～33 宿題 栄養バランスの良い食事 3日分
	16	腸を整える	P23～33 宿題 栄養バランスの良い食事 3日分
	17	腸を整える	P23～33 宿題 栄養バランスの良い食事 3日分
	18	テスト	
	19	振り返り	
	20	振り返り	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	インナービューティ(コース授業)		指導担当者名	長尾 里奈
実務経験	ヨガインストラクター実務経験7年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:○	実技:
時間数(通年)	370時間	週時間数	12時間	
学習到達目標	自己理解を深め、健康的に整うセルフケアを身に付ける。 朝・夕のストレッチ・筋肉トレーニング・呼吸法を日常の中で活かし生活する。 ナチュラルビューティスタイリスト検定取得を目指す。			
評価方法 評価基準	出席率・参加態度・実技習得度合・ノート提出・オリジナルセルフケア方法提出。			
使用教材	ナチュラルビューティスタイリスト検定 公式テキスト			
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	身体の外側から整えるスキンケア	P63～77 コスメ作り	
	2	身体の外側から整えるスキンケア	P63～77 コスメ作り	
	3	身体の外側から整えるスキンケア	P63～77 コスメ作り	
	4	身体の外側から整えるスキンケア	P82～85	
	5	身体の外側から整えるヘアケア	P78～81	
	6	五感に心地よいライフスタイル	P92～P95	
	7	五感に心地よいライフスタイル	P92～P95	
	8	オリジナルセルフケア方法作成 ヨガ	ヨガマット	
	9	オリジナルセルフケア方法作成 ヨガ	ヨガマット	
	10	朝ストレッチ・筋肉トレーニング・夜ストレッチ	ヨガマット	
	11	朝ストレッチ・筋肉トレーニング・夜ストレッチ	ヨガマット	
	12	まとめ		
	13	テスト		
	14	模擬試験		
	15	模擬試験		
	16	最終確認テスト		
	17	ナチュラルビューティスタイリスト検定		
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	管野 元美
実務経験				実務経験: 無
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎	実技:
時間数(通年)	270時間	週時間数	6時間	
学習到達目標	2年間の集大成としての作品作りをする。			
評価方法 評価基準	プレゼン発表、提出課題等の総合評価する。			
使用教材	Ipad・メイク用品・ネイル用品・メイクプランシート			
授業外学習の方法	作品案を考え、発想力を磨く。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	一年の復習	今後の流れを確認する	
	2	パワーポイントの使い方	パワーポイント使用の確認する	
	3	卒業制作	テーマを決める	
	4	卒業制作	デザイン案を制作する	
	5	卒業制作	企画書を作成する	
	6	ヘアメイクプランシート作成	ヘアメイクデザイン案に沿ったプランシートを作成する	
	7	ヘア実践	相モデルによる練習	
	8	メイク実践	相モデルによる練習	
	9	ネイル案シート作成	相モデルによる練習	
	10	ネイル作成	モデルにチップ合わせをしチップ制作を行う	
	11	衣装合わせ	衣装制作(コーディネート)手配する	
	12	全体プランシート作成	見直し	
	13	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	14	写真撮影	モデルにヘアメイク、ネイルを行い撮影をする	
	15	写真選別	実際に使用する写真を選別しプレゼン資料に落とし込む	
	16	パワーポイント作成	最終プレゼン資料を作成する	
	17	卒業制作発表	プレゼン発表	
	18			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験: 無
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	30時間	週時間数	6時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う。		
授業外学習 の方法	事前に実習先企業を調べ予習をする。当日行った業務内容を復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 通年	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	4	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	5	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			